

令和7年3月 21 日

## ヤングケアラーに関する認識等の実態調査の結果について

調査期間:令和6年11月20日～令和7年2月4日

調査対象者:大阪府ヤングケアラー支援に関する府民向けシンポジウムの申込者

回答者数:224人

事例回答数:108事例

回答者数内訳	224人
うち、ヤングケアラーに関するアンケートへの回答者数	170人
うち、事例回答者数	78人

事例回答者内訳	78人	108事例
1事例	58人	58事例
2事例	14人	28事例
3事例	2人	6事例
4事例	4人	16事例

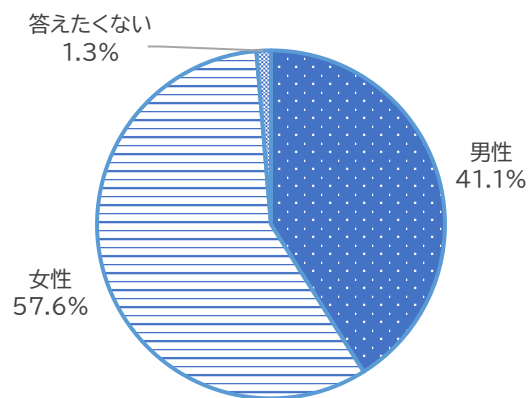
### 結果概要:

- 回答者は、50代が最も多く、福祉関係者が多かった。
- ヤングケアラーという言葉の認知度は、97.1%で、ほとんどの回答者が知っていた。
- ヤングケアラーという言葉を知ったきっかけは、「マスコミ報道」が60.1%と最も多く、次いで「研修会」45.8%、「本・雑誌」25.6%と続いた。
- ヤングケアラーとの関わりについては、「あった(自身を含む)」と回答した者が45.9%で、「なかった」と回答した者は42.9%であった。
- 事例については、108事例が集まった。
- ヤングケアラーの年齢は「10代」が73.1%と最も多く、次いで「10歳未満」16.7%、「20代」5.6%と続いた。
- 世話の対象者については、「母」が69.4%と最も多く、「兄・姉・弟・妹」42.6%、「父」25.0%と続いた。
- 世話の内容は、「家事(食事の準備や掃除、洗濯)」が74.1%と最も多く、次いで「感情面のサポート(愚痴を聞く、話し相手になるなど)」52.8%、「きょうだいの世話や保育所等への送迎」50.0%と続いた。
- ヤングケアラーに気づいたきっかけは、「本人からの話」が47.2%で最も多く、「連携による情報共有」41.7%、「様子を見ていて気付いた」35.2%と続いた。
- ヤングケアラーとの関わりは、「本人に様子を聞いた」が55.6%と最も多く、「所内で情報を共有した」47.2%、「ヤングケアラーの支援(見守りや助言等)を行った」38.9%と続いた。

集計結果:

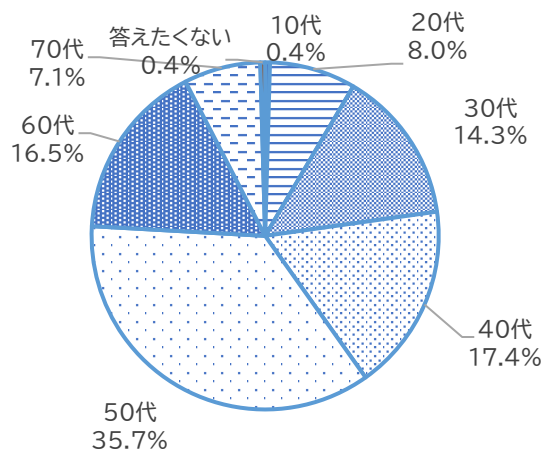
1 回答者の性別(n=224人)

項目	回答者数	%
男性	92	41.1%
女性	129	57.6%
答えたくない	3	1.3%
総計	224	



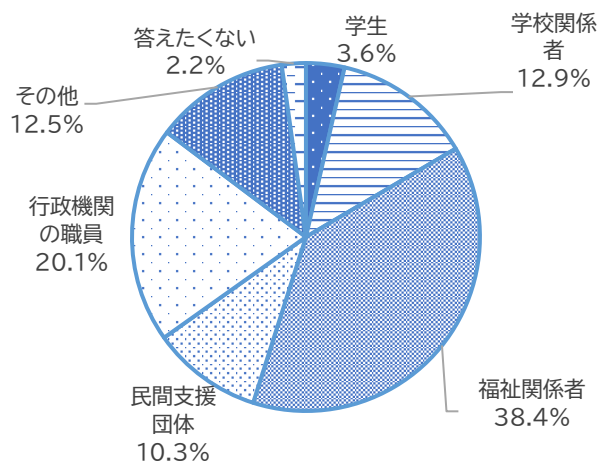
## 2 回答者の年代(n=224 人)

項目	回答者数	%
10代	1	0.4%
20代	18	8.0%
30代	32	14.3%
40代	39	17.4%
50代	80	35.7%
60代	37	16.5%
70代	16	7.1%
答えたくない	1	0.4%
総計	224	



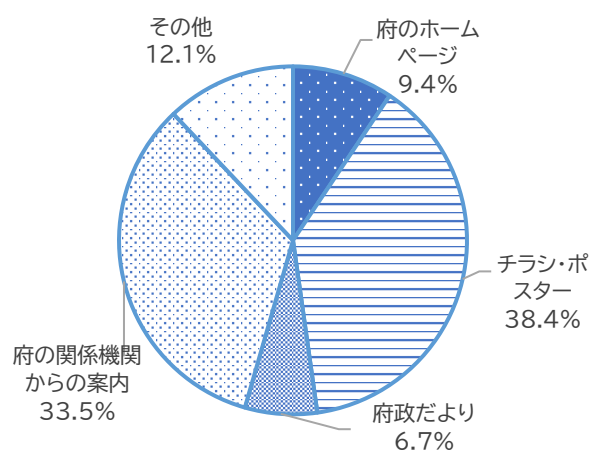
### 3 回答者の所属(n=224 人)

項目	回答者数	%
学生	8	3.6%
学校関係者	29	12.9%
福祉関係者	86	38.4%
民間支援団体	23	10.3%
行政機関の職員	45	20.1%
その他	28	12.5%
答えたくない	5	2.2%
総計	224	



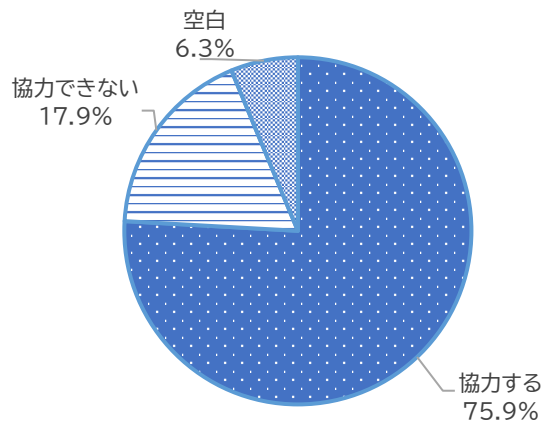
#### 4 シンポジウムを知ったきっかけ(n=224人)

項目	回答者数	%
府のホームページ	21	9.4%
チラシ・ポスター	86	38.4%
府政だより	15	6.7%
府の関係機関からの案内	75	33.5%
その他	27	12.1%
総計	224	



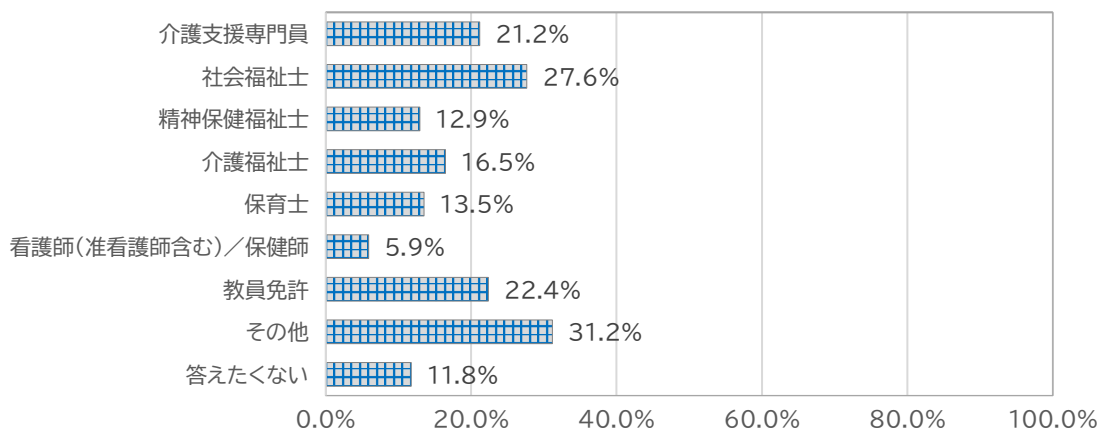
## 5 ヤングケアラーに関するアンケートへの協力(n=224人)

項目	回答者数	%
協力する	170	75.9%
協力できない	40	17.9%
空白	14	6.3%
総計	224	



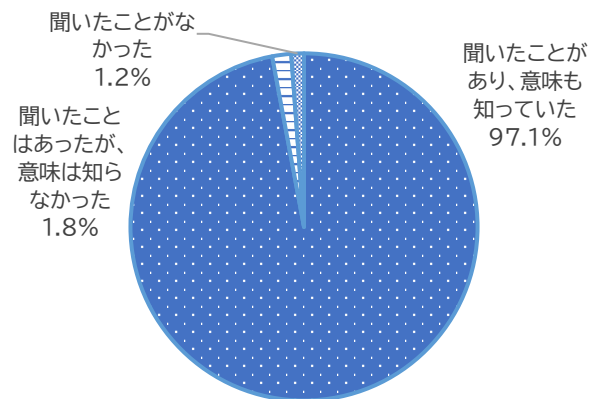
6 保有している医療・福祉・教育系の資格(複数回答)(n=170人)

項目	回答者数	%
介護支援専門員	36	21.2%
社会福祉士	47	27.6%
精神保健福祉士	22	12.9%
介護福祉士	28	16.5%
保育士	23	13.5%
看護師(准看護師含む)/保健師	10	5.9%
教員免許	38	22.4%
その他	53	31.2%
答えたくない	20	11.8%
	170	



## 7 ヤングケアラーという言葉の認知度(n=170人)

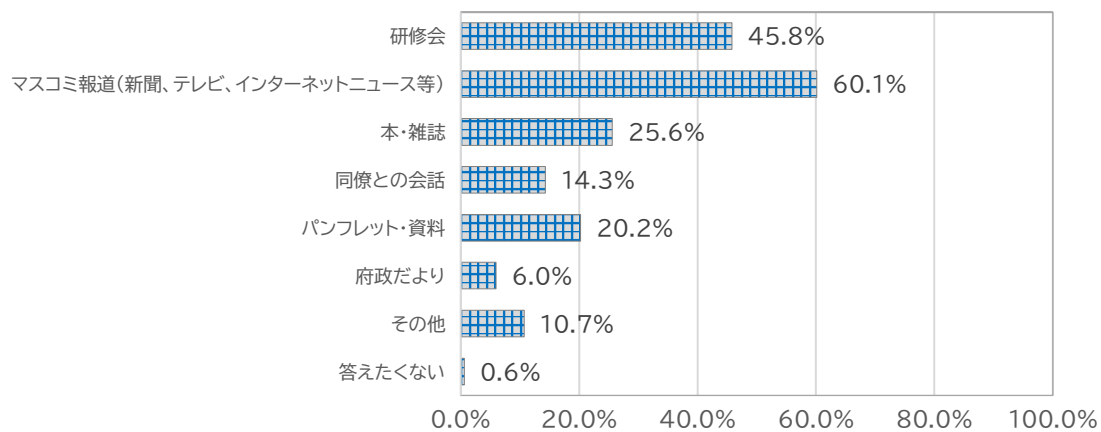
項目	回答者数	%
聞いたことがあり、意味も知っていた	165	97.1%
聞いたことはあったが、意味は知らなかった	3	1.8%
聞いたことがなかった	2	1.2%
総計	170	





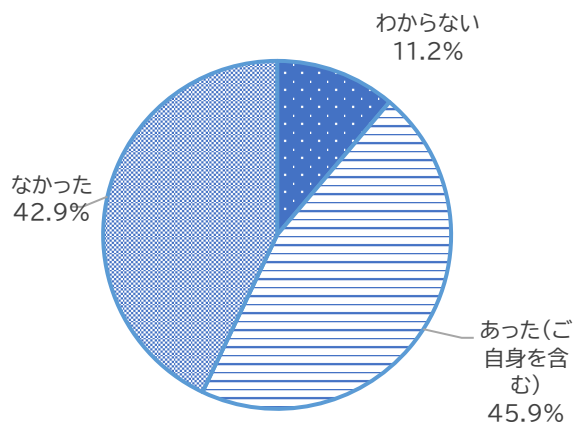
## 8 ヤングケアラーという言葉を知ったきっかけ(n=168人)

項目	回答者数	%
研修会	77	45.8%
マスコミ報道(新聞、テレビ、インターネットニュース等)	101	60.1%
本・雑誌	43	25.6%
同僚との会話	24	14.3%
パンフレット・資料	34	20.2%
府政だより	10	6.0%
その他	18	10.7%
答えたくない	1	0.6%
	168	



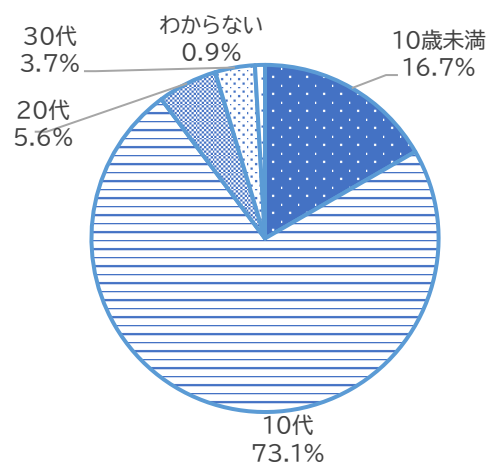
## 9 ヤングケアラーとの関りの有無(n=170人)

項目	回答者数	%
わからない	19	11.2%
あった(ご自身を含む)	78	45.9%
なかった	73	42.9%
総計	170	



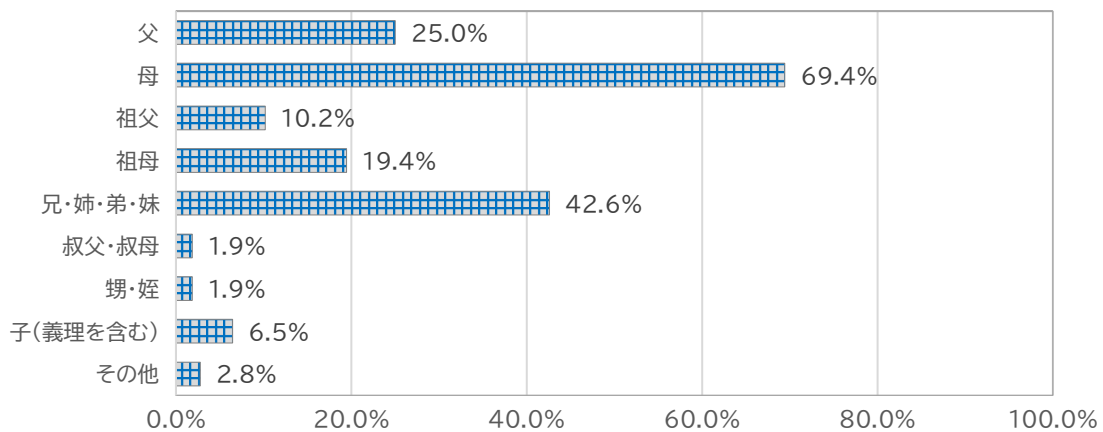
## 10 ヤングケアラーの年齢(n=108人)

項目	回答者数	%
10歳未満	18	16.7%
10代	79	73.1%
20代	6	5.6%
30代	4	3.7%
わからない	1	0.9%
総計	108	



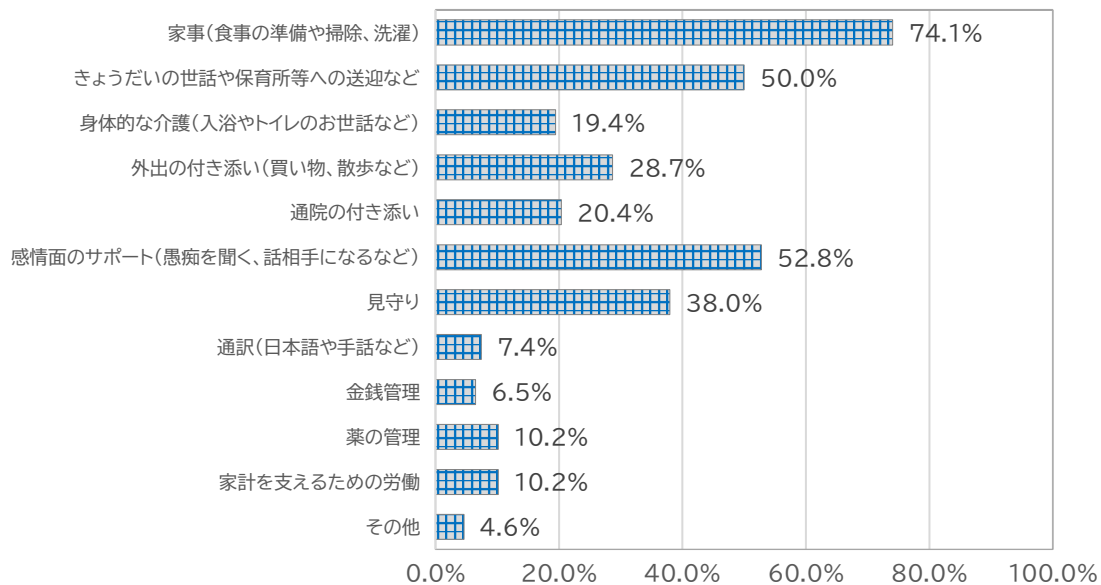
11 ヤングケアラーの世話の対象者(複数回答)(n=108人)

項目	回答者数	%
父	27	25.0%
母	75	69.4%
祖父	11	10.2%
祖母	21	19.4%
兄・姉・弟・妹	46	42.6%
叔父・叔母	2	1.9%
甥・姪	2	1.9%
子(義理を含む)	7	6.5%
その他	3	2.8%
	108	



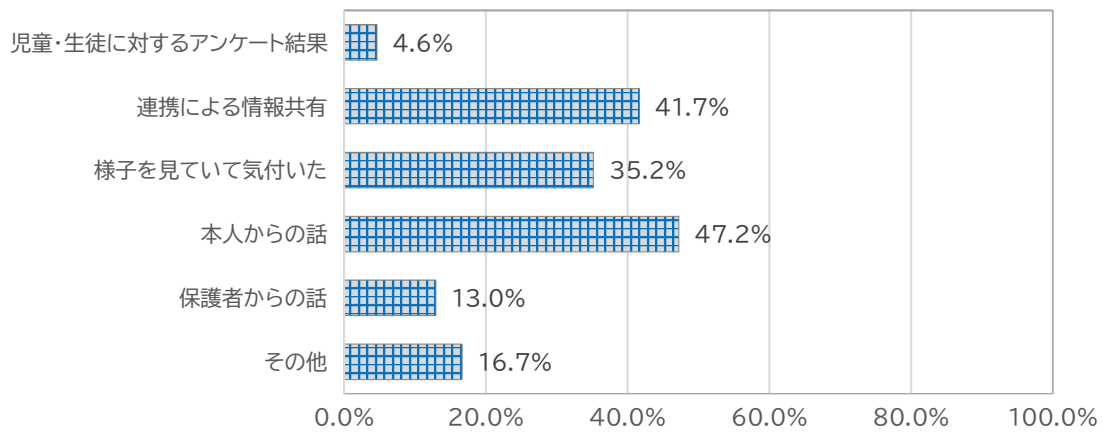
## 12 世話の内容(複数回答) (n=108人)

項目	回答者数	%
家事(食事の準備や掃除、洗濯)	80	74.1%
きょうだいの世話や保育所等への送迎など	54	50.0%
身体的な介護(入浴やトイレのお世話など)	21	19.4%
外出の付き添い(買い物、散歩など)	31	28.7%
通院の付き添い	22	20.4%
感情面のサポート(愚痴を聞く、話相手になるなど)	57	52.8%
見守り	41	38.0%
通訳(日本語や手話など)	8	7.4%
金銭管理	7	6.5%
薬の管理	11	10.2%
家計を支えるための労働	11	10.2%
その他	5	4.6%
	108	



### 13 ヤングケアラーに気づいたきっかけ(複数回答)(n=108人)

項目	回答者数	%
児童・生徒に対するアンケート結果	5	4.6%
連携による情報共有	45	41.7%
様子を見ていて気付いた	38	35.2%
本人からの話	51	47.2%
保護者からの話	14	13.0%
その他	18	16.7%
	108	



#### 14 ヤングケアラーとの関わり(複数回答)(n=108人)

項目	回答者数	%
所内で情報を共有した	51	47.2%
ヤングケアラーのニーズ、関わる問題を把握した	41	38.0%
本人に様子を聞いた	60	55.6%
家族から様子を聞いた	35	32.4%
ヤングケアラーの支援(見守りや助言等)を行った	42	38.9%
必要に応じて学校やスクールソーシャルワーカーに連絡した	34	31.5%
自分の所属・担当セクション以外の行政機関や福祉の事業所(例えば高齢であれば、児童、障がい、生活保護等)と連携した	38	35.2%
子ども食堂、学習支援、居場所づくり等を行う民間の支援団体と連携した	18	16.7%
社会福祉協議会と連携した	9	8.3%
民生委員・児童委員と連携した	13	12.0%
医療・保健の機関と連携した	13	12.0%
継続的にヤングケアラーの意思を確認し、家族、学校、関連機関に代弁した	15	13.9%
その他	12	11.1%
	108	

